

Wリボン
プロジェクト
2022 報告書

*Double Ribbon
Project
2022 Report*



Wリボンプロジェクトって何？

DVと児童虐待。昨今、報道等で、悲惨な事件が伝えられない日はないといっても過言ではありません。

また、内閣府の令和2年度(2020年度)調査では、約4人に1人が配偶者からの暴力を受けたことがあり、女性の約4人に1人、男性の約5人に1人が被害を受けたことがあるという結果が出ています。

吹田市では、DVと児童虐待が密接に関連していることを、あらためて認識し、DV防止対策と児童虐待防止対策を一体として進めていかなければならないと考え、女性に対するあらゆる暴力の根絶のシンボルであるパープルリボンと児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンを組み合わせて、吹田市独自で「W(ダブル)リボンマーク」を考案しました。

このマークを旗印に、平成23年度(2011年度)から、「Wリボンプロジェクト」として、DVや児童虐待に係る講座の開催やマークのピンバッジであるWリボンバッジの販売などを実施し、「あなたはひとりではない STOP Violence」というメッセージを伝えています。

家庭や学校、地域など社会全体に暴力防止への深い理解と関心が広がり、地域や企業などと連携し、DVや児童虐待など「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現をめざします。



吹田市オリジナルデザイン
「W(ダブル)リボンマーク」

Wリボンバッジ

社会全体に暴力防止への深い理解と関心を広げて、DV被害者や児童虐待の当事者に「あなたはひとりではない」というメッセージを届けましょう。



1個 300円 (100個以上は20%割引になります。)

販売場所 吹田市役所 人権政策室(134番窓口)
及び吹田市立男女共同参画センター

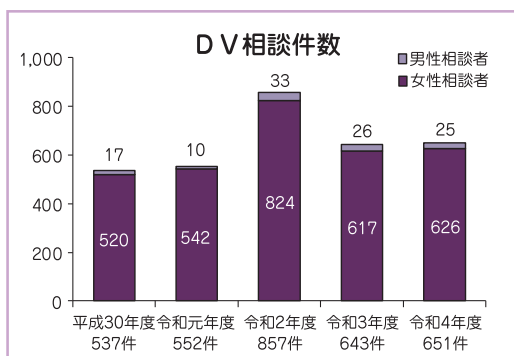
問合せ 吹田市立男女共同参画センター
TEL:06-6388-1451

※売上金の一部がダブルリボンプロジェクト基金に積み立てられ、DV及び児童虐待の防止事業に活用されます。

DVと児童虐待の現状

吹田市では、平成23年(2011年)4月に、配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション(DV相談室)」を開設し、総合的なDV防止対策を進めています。また、DVを「予防」、「発見」、「支援」、「フォロー」の4つのステージで捉え、それぞれ施策を推進しています。

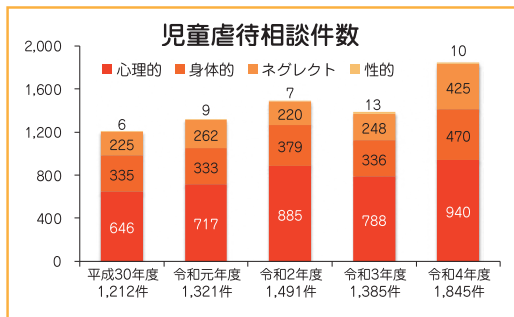
DV相談の件数は、DV相談室開設以降、年々増加の傾向にあり、近年、500件を超えて推移しています。



令和4年度(2022年度)は651件となっており、令和3年度(2021年度)より微増、また過去5年間の平均を上回っています。

貧困や傷病、障がい、児童虐待等、様々な要因が重なり、内容が複雑化する傾向にあり、関係機関とのより一層の連携が必要となっています。

児童虐待相談件数については、全国的にみても増加傾向が続いています。令和4年度(2022年度)の相談件数は1,845件と、令和3年度(2021年度)と比較すると、約460件の増加となりました。また、令和4年度(2022年度)末時点の吹田市児童虐待防止ネットワーク会議台帳の登録児童数も令和3年度(2021年度)末時点と比較して増加しており、対応が困難な相談事例が増加している状況です。また、心理的虐待は相談件数全体の半分以上を占めており、これは、主に子供の面前でのDVやきょうだいへの虐待を目撃することによる心理的な虐待によるもので、家庭の



中で起こる暴力の子供への影響は深刻なものとなっています。

本市では吹田市児童虐待防止ネットワーク会議(要保護児童対策地域協議会)を中心に、関係機関と密に連携しながら、支援を必要とする児童の早期発見、早期対応、虐待の再発防止に努めています。

児童虐待防止・子育て支援講座

11/5(土) 午前10時～正午

解決！反抗期の子育て応援講座

～イライラ・ガミガミ飛んでいけ～

株式会社ナースハート代表取締役井上 泰世さんを講師に、反抗期の子供との向き合い方をテーマにお話を伺いました。



昨今、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、長期間の自粛生活が続いており、数多くのストレスにさらされている子供と親子で向き合う時間が増え、子供との付き合い方に悩まれる保護者も数多くおられます。

この講座では、アングーマネジメントやコーチングを通じて子供と上手にコミュニケーションを図る方法について学びました。

講座

11/27(日) 午前10時30分～午後0時30分

男のモヤモヤととのえます

～スキンシップにも使える身体ケア～

福島充人さん(一般社団法人日本男性相談フォーラム代表理事)
伊田広行さん(立命館大学非常勤講師、DV加害者教育プログラムNOVO運営者)
有吉恵一郎さん(はなはな整骨院院長)

前半は、男性相談、DV加害者教育プログラムに関わる専門家から、男性のストレスの背景にあるものについて説明いただきました。後半は、自分の不調に向き合い癒すため、そして家族とのスキンシップや優しいコミュニケーションにも使えるストレッチを体験しました。

受講者からは、「男性の心のケアについて、女性に比べてあまり取組がないと思っていた。考える機会になった」との感想をいただきました。



Wリボンシアター

凍える鏡 (2007年・日本)

11/16(水) 午前10時～正午、
午後1時30分～3時30分

幼少期に母親から受けた虐待の影響で、精神的に不安定で周囲とトラブルばかり起こして孤立している青年が、ある親子と出会い、自分を見つめ直し、成長していく物語。

参加者からは「幼少期の親との関係がその後の人格形成にこんなにも影響を及ぼすとは思わなかった。考えさせられた」との感想をいただきました。



講演会

11/26 (土) 午後1時30分～3時30分

声を聴くことから始まる
～デジタル性暴力について考える～

講師: 金尻カズナさん (NPO法人ぱっぷす理事長)



「デジタル性暴力」(スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器を利用した性暴力)やリベンジポルノなど様々な相談支援に携わっているNPO法人ぱっぷす理事長の金尻カズナさんをお迎えして、ネット社会で起こりうる性被害・性暴力について、実例をあげて分かりやすく説明していただいたほか、加害者と被害者の心理、加害予防の重要性についてもお話いただきました。

受講者からは、「被害の実態だけでなく、被害者・加害者の心理がよく分かった」との感想をいただきました。

啓発ポスター作成

サッカーJリーグ・
ガンバ大阪との協力

令和4年度(2022年度)は、吹田市をホームタウンとするガンバ大阪とのコラボレーション啓発ポスターを作成し、市内の公共施設や小中学校等へ配付しました。また、吹田市役所1階のデジタルサイネージや吹田市ホームページに掲載しました。



ライトアップ

11/1(火)～11/10(木)

Wリボンカラー
ライトアッププロジェクト

高さ日本一の観覧車、レッドホースオオサカホイール(EXPOCITY)をWリボンカラーのパープルとオレンジにライトアップしました。



イベント 11/23(水・祝)

エキスポ文化祭 inららぽーとEXPOCITY

SDGsの実現につながる様々な知見や技術、パフォーマンスを披露するイベントに参加し、Wリボンプロジェクトに関するブースを出展しました。



ダブルリボンプロジェクト基金

Wリボンバッジは多くの方々に御購入いただき、その趣旨に賛同いただきました。その方々の暴力防止への思いを何か形にできないかと考え、平成26年(2014年)3月末に「ダブルリボンプロジェクト基金」を創設しました。



なお、Wリボンバッジ(すいたんバージョン含む)は令和5年(2023年)3月末で累計約28,000個御購入いただきました。

基金には、バッジの売り上げの一部や皆様からの御寄附が積み立てられ、その基金は、様々な啓発活動に加え、中学生に向けたデートDV予防啓発やDV相談等、DV及び児童虐待の防止対策の財源として活用しています。

令和4年度(2022年度)、基金には、

38件
799,784円

の御寄附をいただきました。

吹田市イメージキャラクター
すいたん



ダブルリボンプロジェクト基金収支

令和4年(2022年)3月末現在 基金残額	9,548,608円
1 収入	1,108,490円
寄附金	799,784円
Wリボンバッジ売上金の一部	308,616円
利息	90円
2 前年度繰戻金	23,490円
3 支出	2,157,000円
DV及び児童虐待防止対策に係る事業費に充当するための繰出金	2,157,000円
基金残額(令和5年(2023年)3月末日現在)	8,523,588円

*寄附金は1月1日から12月31日までにいただいた金額の合計をまとめて基金会計に積み立てます。

基金は、 「暴力のない安心安全のまち、すいた」 の実現のために活用します

小中学生に向けた予防啓発に
取り組んでいます。



デートDV予防啓発出前講座(中学校)



みんな生き生きプログラム(小学校)

市内の商店街では、お店の入口や店内にWリボンマークのステッカーを
貼っていただき、普及啓発に御協力いただいています。



吹田市では、職員が着用する作業服や防災服、帽子等に
Wリボンマークをデザインし、普及啓発に取り組んでいます。



Wリボンプロジェクト支援自動販売機

オリエンタル酵母工業株式会社大阪工場と、アサヒビール株式会社吹田工場に設置された「Wリボンプロジェクト支援自動販売機」です。

Wリボンマークを施したラッピング自動販売機で、売り上げの一部がダブルリボンプロジェクト基金に寄附されます。

様々な企業、団体の御協力で市内各地に設置されています。



オリエンタル酵母工業株式会社
大阪工場



アサヒビール株式会社
吹田工場

Wリボンマークの輪 全国へ

DVと児童虐待防止のシンボルとして、吹田市独自で考案した「W(ダブル)リボンマーク」が全国各地で使用され、活動を広げています。

Wリボンマークは使用申請いただければ、御自由に利用いただけます。

昨年度も12件の使用申請があり、全国にWリボンの輪が広がっています。

神戸市

神戸マラソン2022
検温証明リストバンド



宜野湾市



こうべ花時計

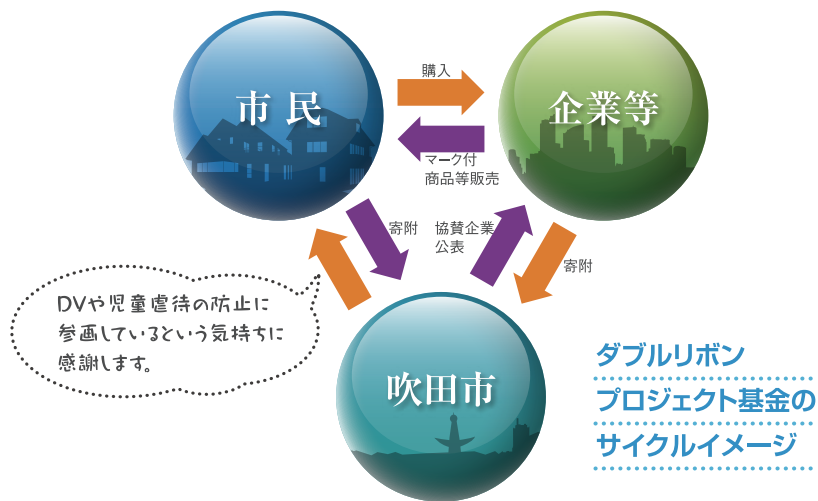
Wリボンポロシャツ



この基金は、DVや児童虐待の防止の啓発などを通し、
「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現のために活用します。

この基金への寄附を募集しています。

あなたの寄附で、DV被害者や児童虐待の当事者に「あなたはひとりではない」という
メッセージを伝えるとともに、「暴力のない安心安全のまち、すいた」が実現するよう応援をお願いします。



ふるさと納税制度を活用して 応援をお願いします。

個人の方が地方公共団体に寄附をいただいた場合、「ふるさと納税」制度の対象となり、2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税と合わせて全額が控除されます。

※法人の寄附は、寄附金相当額が損金算入できません。

【寄附方法】

- ① 所定の申込用紙に必要事項を記入し、寄附をお申し込みください。
- ② 最寄りの金融機関等でご入金をお願いいたします。
- ③ 金融機関でお渡しする領収書(これが寄附金受領証明書になります。)を大切に保管してください。
- ④ 確定申告時期に確定申告を行ってください。(上記の領収書が必要です。)

詳しくは下記までお問い合わせください。

吹田市市民部 人権政策室 (ダブルリボンプロジェクト基金担当)

TEL.06(6384)1461

吹田市寄附申込書

吹田市長 宛

年 月 日

下記のとおり、ダブルリボンプロジェクト基金への寄附を申し込みます。

フリガナ	
1 氏名又は団体名	
2 団体の代表者名 (団体の場合のみ)	
3 住 所	〒 ー
4 電 話 番 号	() ー
5 寄 附 金 額	¥ 円
6 氏 名 の 公 表 (どちらかをお選びください)	※今回のご寄附について、お名前等を「市報すいた」 や「本市のホームページ」等で公表することについて <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない
7 納 付 方 法 (お選びください)	<input type="checkbox"/> 市役所窓口払い (担当窓口：人権政策室) <input type="checkbox"/> 吹田市指定金融機関、吹田市収納代理金融 機関での納付 (納付書を後日送付いたします。) <input type="checkbox"/> 市の口座へ直接お振込み りそな銀行 吹田支店 普通 0339311 すいたしだぶるりぼんぷろじえくとききん 吹田市ダブルリボンプロジェクト基金 (手数料はご負担となります。) ※振込予定日 年 月 日 <input type="checkbox"/> 現金書留 (郵送料等はご負担となります。)

キ
リ
ト
リ

※いただきましたご寄附は、全額を「ダブルリボンプロジェクト基金」への指定寄附として積み立てます。

寄附申込先：吹田市市民部人権政策室

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

TEL: 06-6384-1461 FAX: 06-6368-7345

ダブルリボンプロジェクト基金への 寄附をお願いします

- ① 9ページの申込書に必要事項を記入し、人権政策室まで寄附をお申し込みください。
- ② 次のいずれかの方法で御入金をお願いいたします。
 - ① 申込書に記載している振込先に入金する
 - ② 市役所窓口払い(人権政策室の窓口)
 - ③ 現金書留(人権政策室宛)
- ③ 金融機関等でお渡しする領収証書を大切に保管してください。
- ④ 確定申告書に上記の領収証書を添えて確定申告してください。
(ふるさと納税制度の対象となり、2,000円を超える部分について、
一定限度まで、原則として所得税と合わせて全額が控除されます。)

2022年度

「Wリボンプロジェクト」協賛事業者等一覧

アサヒ飲料販売株式会社	吹田ロータリークラブ
オリエンタル酵母工業株式会社大阪工場	泉州電業株式会社
株式会社河崎ユニフォーム	トナリエ南千里テナント会
株式会社ガンバ大阪	学校法人西大和学園大和大学
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	日の出商店会
新旭町通り商店街協同組合	広島県警本部生活安全部少年対策課
吹田企業人権協議会	北越コーポレーション株式会社大阪工場
団地管理組合法人吹田さんくす	マロニー株式会社
吹田市旭通商店街協同組合	株式会社山久
一般社団法人吹田市歯科医師会	
社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	(50音順、敬称略)
公益財団法人吹田市文化振興事業団	
一般社団法人吹田市母子寡婦福祉会	
一般社団法人吹田市薬剤師会	

多くの方の御協力、ありがとうございました。



お使いください Wリボンマーク

DVと児童虐待防止のシンボルとして、吹田市独自で考案した「W(ダブル)リボンマーク」を使用して活動を広げていただくために、申請いただければWリボンマークを自由に使用いただけることにしています。

Wリボンマークはポスター、文房具など自由に使えます。

Wリボングッズを身近に置くことで、家庭や地域、学校などに女性や子供に対する暴力防止への深い理解と関心を広げてみませんか。

Wリボンマークを使用するには、「Wリボンマーク使用要領」を参考の上、申請してください。詳しくは人権政策室(06-6384-1461)までお問合せください。

<https://www.city.suita.osaka.jp/kurashi/1018573/1018585/1018591/1006427.html>



Wリボンプロジェクト2022 報告書

令和5年(2023年)10月

発行/吹田市

編集/市民部 人権政策室

〒564-8550 吹田市泉町1丁目3番40号



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この冊子は900部作成し、1部あたりの単価は79.2円です。